みんなで話そう、
北近畿の未来。

それぞれのまちのこと、
「京都府北部」「北近畿」広域の目線で知恵を持ち寄って考えたい。
是非いろんな方にご一緒いただけたら嬉しいです。
宮津のミライ x めくるめく福知山

5/20（水）　18:00〜　宮津ミップル前　街頭演説
（国道178号線浜町交差点）
18:30〜　カフェtricot　タウンミーティング
（宮津市文珠541-12）
※お一人ワンオーダーでのご参加をお願いします。

5/27（水）18:30〜 福知山フリースペースTsunaga Room　タウンミーティング
（福知山市下新10）

6/7（日）10:00〜　福知山駅北口公園前　街頭演説
10:30〜　交流プラザふくちやま3F　タウンミーティング
（福知山駅となり、図書館のある建物）

6/12（金）19:30〜　zoom　オンライン
※原則カメラ・マイクONでのご参加をお願いします。
ご参加の方にアクセス先をお知らせします。

スケジュールはSNSで随時告知しています。

宮津市議会議員
ほりみき

福知山市議会議員
イシワタマリ

ミライ通信
2026/04/30

宮津市議会議員　ほりみき　政務活動報告
〒626-0037 京都府宮津市小田283-2　mikity8118@gmail.com

ほりみき　完全無所属
見る・知る・つながる。

市議会議員として仕事をさせていただき、
今年で4年になります。
この間、4年前に掲げた公約を軸に
「誰のため、何のための施策なのか」
「本当に市民の皆さまの視点に立てているのか」
問い続けてきました。
どんな施策も、議員の力だけでは実現しません。
お声を聴かせてくださる市民の皆さま、議会の
議論を受けて取り入れるか判断し具体化する行政。
いろんな立場の皆さまの力で施策が前へ進みます。
力不足を痛感することも多いけれど、
だからこそ、現場に足を運び、
当事者の声をお聞きし、
議会でのトピックをお伝えしながら
一緒に考える時間を大切にしてきました。
「どうせ宮津は変わらない」というお声も
ありますが、対話による小さな変化の
積み重ねの中で「一緒に良くしていける」と
感じられる場面も増えています。
宮津に暮らす皆さまが
「このまちに住んで良かった」と
思えるように。これからも
見る・知る・つながることを大事にしながら、
地域に寄り添う議会活動を続けていきます。

宮津市議会議員　ほりみき

見る・知る・つながる。

ほりみきのトピック５選！

①ママたちの声で、スクールバス実現の一歩に！

登下校時、夏の暑さが心配。積雪で道が狭くて怖い。子どもが減って登校班が組めない…。ママたちとのお話を重ねる中でそんな「日々の不安」が言葉になりました。そこで、暑さ対策や危険箇所、見守り体制の課題を整理し、要望書として提出。ママたち・学校の声をきっかけに、夏の暑い期間はスクールバス通学が可能になった地域も生まれました。一方、まだ課題が残る小学校・中学校の登下校についても不安の声が届いています。暮らしの中で感じる心配やモヤモヤを、皆さんと一緒に対話し、行動につなげていく。一つずつ安心できる仕組みを増やす活動を続けていきます。

小中学生の安心安全な登下校を。

②移住サイトを暮らしの窓口に

宮津市が進める移住・定住施策。どんなに魅力があっても、その情報が見やすく伝わらなければ意味がありません。また、移住を検討するうえで、制度や補助金の説明だけでは、宮津での暮らしがなかなか想像しにくいのが実情です。移住促進に取り組む方々の課題感から「移住・定住ポータルサイトのリニューアル」を議会で提案しました。その結果、令和８年度予算にリニューアル費用が盛り込まれ、情報発信を抜本的に見直す一歩が実現しました。これからは、住まい・仕事・子育て、そして地域のつながりなど、宮津に暮らす人の声を交えながら「暮らしのリアル」が伝わるページづくりに注目しています。

③作業療法の視点を学校現場に

発達特性や不登校、学習や対人面でのつまずきなど、子どもたちの困りごとは年々多様になっています。議会では、飛騨市などの先進事例を参考に、作業療法士と連携した「学校作業療法室」の導入を提案しました。子ども自身の努力不足ではなく、専門的な視点から環境や学び方を工夫することで、本来の力を発揮できるようにすることが大切だと考えています。宮津市でも、専門職と学校・家庭がチームになり、一人ひとりに合った学びを支える仕組みづくりに力をいれたいと思います。

④現役世代の声は届いてる？

「時間がない」「話し合いの場に入りづらい」。
暮らしに関わる大事な意思決定の場に、女性や子育て現役世代の声が十分届いていない現状があります。
現役でがんばる世代の声が反映されないまちはやがて衰退し、選ばれないまちになってしまいます。
これまで、女性活躍推進や審議会委員の選び方、市民との対話の場づくりについて、委員会や一般質問で繰り返し提案してきました。 私自身がシングルマザーとして子育てと仕事の両立に悩んできた経験から、「声の大きな人だけの政治」にはしたくありません。
いつでもどこからでも参加できるオンラインプラットフォームや、小さな座談会など、参加しやすい場を増やしながら、暮らしのリアルな声を市政に届けていきたいと考えています。

⑤最期まで「自分らしく」

認知症の方やご家族、地域の人が気軽につどえるオレンジカフェは「困りごとを一人で抱え込まない」ための大切な場です。議会では、オレンジカフェの充実と、人生の最終段階について前向きに話し合う「人生会議（ACP）」の普及を、一体的に進めるよう提案しました。 どんな状況になっても、その人らしい選択を尊重できる地域でありたい。住み慣れた地域でいきいきと最期まで過ごせる社会であることは、ケアする人への支えの充実にもつながります。
赤ちゃんから人生の最期まで、誰もが安心して過ごせる宮津をめざし、引き続き取り組みを続けます。

宮津に移住するきっかけをつくってくれた亡き祖母。

チラシを配ってくださる方、お話会の開催、大募集。

本来なら市内すべての皆さまにお会いすることが理想ですが、身一つでは難しく、せめてもとチラシをお配りさせていただいています。暮らしに深くつながる政治を、もっと身近に感じてほしい。まちの皆さんと共に、宮津を良くしていきたい！一緒に活動をする仲間や、参加はできなくても応援・協力してくれる方を募集しています！ご興味を持ってくださった方、お気軽にご連絡ください！

メール： mikity8118@gmail.com

Instagram　Facebook

ほりみき（完全無所属）

宮津市議会議員。1984年生まれ。上宮津在住。東京から祖母の故郷・宮津へ移住しました。発達障害や不登校と向き合った３人の子育てや、祖母の看取りを通して、暮らしの中の課題と向き合ってきました。子どもから高齢者までどんなステージでも自分らしく過ごせるまちを目指して活動しています。一人ひとりの想いに寄り添い、対話から解決を生み出す政治を続けています。議会では総務文教委員長、情報化委員、議会活性化小委員、宮津与謝消防組合議員、関西若手議員の会では副会長（京都エリア）、政策調査部会副部会長を経験。女性消防団員、防災士、子育てサークル団体ボクのミカタの発足、つながる防災ままもりっこ運営メンバー。